

東北新幹線全線開業つがる市活性化協議会を設立



就任のあいさつを述べる伊藤良二会長

12月4日の東北新幹線全線開業に向けて新幹線開業効果を最大限活かし、観光をはじめとする地域産業の振興を図り、地域発展のために官民一体となった取り組みを行おうと「東北新幹線全線開業つがる市活性化協議会」の設立総会が9月17日、市役所会議室で行われました。

協議会は顧問1人、理事12人、幹事12人の計25人で構成され、会長には伊藤良二氏、副会長には宮本純一氏、三上純一氏、監事には佐々木廣規氏、小山内金弥氏がそれぞれ就任しました。伊藤会長は「待望の新幹線が青森に来ることになり大変喜ばしいことです。新幹線開業を契機に各団体がつがる市の活性化、発展のために力を合わせてがんばりましょう」とあいさつしました。

つがる市の魅力を映画で発信 ショートムービー「けの汁」の制作発表会見

つがる市フィルムコミッション（川嶋大史会長）では、東北新幹線全線開業に向け、市の魅力を県内外にPRし、開業後の誘客につなげることを目的にショートムービー「けの汁」の制作を開始し、10月6日、市役所で福島市長、川嶋会長、千村利光監督、主演女優の小林あずささんが制作発表会見を行いました。

この映画は、父親が嫁ぐ娘に亡き母親の思いがこもった「けの汁」を伝えるというストーリーで上映時間は30分程度。馬市まつり、りんご畑、出来島海岸など市の風物や名所を随所に盛り込みながら親子の絆や故郷のありがたさを描く作品です。千村監督は「映画の主題は『望郷』。故郷の味、母親の味を織り込みながら、故郷のあたたかさや人と人との絆を表現し、つがる市のいいところを映画にしたい」と抱負を語りました。また、娘役を演ずる元RABアナウンサーの女優・小林さんは「久々の青森で『ただいま』という気持ち。タイトルのようにつがる市の魅力がぎゅっと詰まった心あたたまる作品になると思います」と話しました。フィルムコミッションでは、今年度中の完成をめざしています。



ショートムービー「けの汁」に対する思いや期待を語る



左から小林さん、福島市長、千村監督

つがるの味を堪能 食の味力発見第5回フェスタinつがる市



来場者へ振る舞われた野菜たっぷりのけの汁

つがるブランド認定加工品や市内特産品の魅力に触れてもらおうと、つがるブランド推進会議と東奥日報社が9月23日、「食の味力発見第5回フェスタinつがる市」をイオンモールつがる柏で開催し、約2,000人が訪れ賑わいました。

開会セレモニーでは、福島市長が「つがるの宝である農産物と、その加工品の魅力を発見してください」とあいさつ。つがるの宝である三方荒神鹿島獅子が育成小学校の児童らによって披露されました。また、シャコちゃんコートでは、地域の特産品を使ったけの汁が300食振る舞われ、家族連れらが長い列を作っていました。2階の特設会場では、トマト加工品やりんごジュースなどつがるブランド認定加工品や木造高校生が考案したロールケーキ「木高ロール」などの販売が行われ、多くの人が買い求めていました。

産業用無人ヘリの県飛行技術競技大会で最優秀賞 全国大会出場を報告



左から 吉田源貴さん、長谷川英世さん、吉田直昌さん、山下雅也さん

農薬散布などに使用する産業用無人ヘリコプターの県飛行技術競技大会が9月10日、弘前市岩木青少年スポーツセンターで行われ、越水無人ヘリ防除組合の長谷川英世さん・吉田源貴さん組が最優秀賞に輝きました。また、同組合の吉田直昌さん・山下雅也さん組が優秀賞の成績を修め、4人は茨城県で開かれる全国大会に出場することとなり、10月6日、福島市長に報告に訪れました。

競技は、2人1組で1人が操縦者、1人が離れた場所から合図を送る役割を担い、飛行の安定度や散布液噴出の精度などを競うものです。福島市長は「全国大会では地元の田んぼにいる気持ちで普段通りの力を発揮してがんばってください」と激励すると、長谷川さんは「去年は全国大会10位に終わった。今年は昨年より上位に入れるようベストを尽くします」と抱負を語りました。

人権擁護委員 小笠原氏ら4人に委嘱

人権擁護委員に小笠原金美氏、葛西弘和氏、工藤みどり氏、黒滝清昭氏の4人が10月1日付けで法務大臣より委嘱されました。(再任)

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。つがる市では現在9人の人権擁護委員が活躍しています。(敬称略)

- ◎小笠原金美 (木造) ◎鳳至 満 (柏)
- ◎葛西 弘和 (木造) ◎成田 房子 (柏)
- ◎工藤みどり (木造) ◎黒滝 清昭 (稲垣町)
- ◎平田 昌子 (木造) ◎村上 喩 (車力町)
- ◎八鍬 久 (森田町)



左から小笠原氏、葛西氏、工藤氏、黒滝氏

子どもたちの夢と思い出を育む校舎に 向陽小学校校舎改築工事安全祈願祭



玉串をささげ安全祈願する福島市長

建築後39年が経過し、耐力度調査の結果、危険建物となり改築される向陽小学校校舎の改築工事安全祈願祭が9月24日、同校グラウンドで行われました。

安全祈願祭には、市、工事関係者ら約120人が出席し、福島市長らが鍬入れの儀を行った後に玉串をささげました。福島市長は「工事の安全には十分留意され、事故のないよう万全を期してください」とあいさつしました。新しい校舎は面積4,931.85㎡(延床面積)で、鉄筋コンクリート2階建て。玄関や校舎内部はバリアフリー化され、内装にはヒバ材がふんだんに使われ、平成23年12月に完成予定です。



災害に備え炊き出し訓練

つがる市赤十字奉仕団木造分団第2班が10月1日、旧菰楯小学校体育館で炊き出し訓練を行い、関係者と菰楯保育園やこもほ児童クラブの子どもら約100人が参加しました。菰楯地区で行われる炊き出し訓練は今回で3回目となり、同木造分団第2班の木村方子班長は「災害があった場合に役立てられるように勉強しましょう」とあいさつをしました。訓練では、衛生面や保存性に優れ大量に作ることができるハイゼックス（熱に強いビニール製の袋）を使ったご飯の炊き方などを体験し、災害時の炊き出しや災害への備えの大切さを学んでいました。

許さない！りんご盗難

りんごを盗難被害から守ろうと「つがる市りんごパトロール隊」の出動式が10月15日、市役所前で行われました。

出動式には、つがる警察署員ら関係者約60人が出席しました。市防犯協会長（福島市長）のあいさつの後、つがるにしきた農協りんご部会の七戸竹男さんが「生産者が精魂込めて作ったりんごを盗難被害から守るため、収穫が終わるまで防犯パトロールを強化します」と決意表明をしました。出動式の後、隊員らは木造地区、柏地区、森田地区をパトロールし、森田地区の七戸久嗣さんのりんご園で盗難注意を呼びかけました。



アーストップ12周年大感謝祭

道の駅もりたアーストップ12周年大感謝祭が10月2日と3日の2日間、道の駅もりたで開催され、多くの親子連れらが訪れていました。

感謝祭では、育実幼稚園・森田保育所の園児らによる踊りや太鼓、森田小学校吹奏楽部の演奏、よさこい演舞などが披露され、観衆から大きな拍手が送られました。会場には津軽半島の各道の特産品販売ブースも集まり、賑わいを見せていました。また、つがーるちゃんとのジャンケン大会には子どもたちの行列ができ、景品のお菓子をもらって喜んだり、記念撮影したりして楽しんでいました。

夢庭秋まつり イベントで交流

特定非営利法人つがる夢庭志仙会（荒谷政志代表）主催の夢庭秋まつりが10月11日、夢庭広場（柏下古川）で開催され、400人を越える人で賑わいました。

夢庭秋まつりは、秋の収穫に感謝し秋の味覚を楽しもうと毎年行われており、今回は、難病と闘い歌手をめざす浅木博光さんのコンサート、柏小学校児童による柏太鼓、津軽囃子會炎のステージやアジア留学生による楽器演奏など多彩なイベントが行われました。また、昼食には新米を使ったおにぎり、豚汁、おでんが振る舞われ、来場者は秋の味覚を楽しみながら交流を深めていました。



東北中学校相撲つがる市大会で木造中が準優勝

9月19日、森田地球村スポーツパーク相撲場で第4回東北中学校相撲つがる市大会が行われ、山形県を除く東北5県から19チーム約70人が参加して熱戦が繰り広げられ、団体の部で木造中学校が準優勝を飾りました。

団体予選を勝ち抜いた同校は決勝トーナメントで栗駒中学校（宮城）を2対1、丹代道場（鯉ヶ沢）を3対0で勝ち上がりましたが、決勝戦で井川クラブ（秋田）に逆転を許し1対2で敗れ、惜しくも準優勝となりました。

（写真左から）石森淳嗣君（3年）、菊池大史芽君（1年）、斎藤悠世君（2年）



サッカー楽しみながら上達

9月18日、岩木川河川公園で市体育協会主催のスーパーキッズサッカー教室が行われ、市内小学生45人が参加しました。

この日は、五所川原サッカー協会の江良武康氏ほか5人を講師に迎え、学年毎に3つのグループに分かれ、ボールを蹴る、止めるの基本動作から始まり、足の外側だけを使ったドリブルやゴール枠ぎりぎりを狙うシュートなどさまざまな練習を行い技術を学びました。最後に試合形式のゲームを行い、パスをつないでゴールをめざしました。江良さんは「皆さんだんだん上手になっていきました。これからもサッカーを楽しんでください」と子どもたちに話していました。

グラウンドゴルフでコミュニティづくり

10月11日、銀杏ヶ丘公園で木造コミュニティ実行委員会（白戸英行会長）主催の第6回つがる市長杯争奪グラウンドゴルフ大会が行われ、約70人の各町内会員らがスポーツを通して親睦を深めました。

この日は好天に恵まれ、参加者は日頃の練習の成果を発揮し、スコアを競いました。競技の結果、松原町内会が1位となり優勝杯を受け取りました。

大会後、つがる警察署による交通安全講話も行われ、冬場に向けての交通安全の心構えを学びました。また、昼食交流会では、女性会の手作り料理を楽しみながら、交流を深めました。



被害者支援への理解深める

9月28日、松の館で被害者支援講演会が行われ、約30人が参加し、犯罪被害者支援に関して理解を深めました。

この講演会は、つがる市犯罪被害者支援ネットワーク（高橋秀一会長）が犯罪被害者やその遺族に対する支援活動の推進の一環として行ったもので、この日は交通事故被害者遺族の仲沢陽子氏を講師に迎え、自らの辛い経験談をもとに講演をしました。

仲沢さんは「そばに被害者がいたらやさしく見守るとともに『困っていることはないですか？』と一声かけてほしい。そして自分自身が被害者、加害者にならないように気をつけてください」と参加者に呼びかけました。